



- 1 2 トーク中の様子
- 3 会場の一角には、託児スペースを配置
- 4 トークの最後に、「一步踏み出す決意カード」を書き、明日への決意を宣言
- 5 参加者の皆さん

市民特派員のまちかどレポート

働く女性 no ほんねとーく に参加して

育児休業中の女性や積極的に育児に関わる男性など、さまざまな立場の皆さんとともに、「ふやそう 輝く 光の女性」をテーマに語り合う「働く女性 no ほんねとーく（6月25日(土)、あいぱーく光で開催）」に参加しました。

その中では、働く女性が抱える不安や悩み、市に対する要望など、参加者の皆さんが普段感じていることを存分に語り合い、とても有意義な時間を過ごすことができました。

女性管理職など、あらゆる場面で女性の活躍がみられるようになった現在でも、妊娠、子育て、介護などを理由に有能な女性が職を離れざるを得ない現実があります。

光市では子育て支援をはじめとした働く女性を支える制度も数多くあります。また、育

児に積極的な男性「イクメン」の増加といった男性側の意識変化も進んできているように感じます。固定概念にとらわれず、男女一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮できるまちにするにはどうしたらよいか、改めて考えたいと思いました。

今回の取材は
かわむら じゅんこ
河村 淳子 さん
(光井)

